

育成を目指す資質・能力

(知識及び技能) 曲想やその変化と楽器の音色や響き、旋律との関わりについて理解している。

(思考力, 判断力, 表現力等) オーケストラの様々な楽器の音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。

(学びに向かう力, 人間性等) 楽器の音色や響きの変化、旋律の交代に気を付けてオーケストラの演奏を聴く学習に主体的に取り組もうとしている。

ICT活用のポイント

○「旋律の特徴の可視化」と「意見の交流」

【導入】本時のめあてをつかむ。

めあて：2つの旋律を演奏する楽器の音色をきき取ろう。

【展開】オーケストラの編成について知り、主な旋律を演奏する楽器の音色を感じ取りながら鑑賞する。

【終末】学習のまとめをし、学びを振り返る。

事例の概要

○主な旋律を演奏する楽器の音色を感じ取って「祝典序曲」を聴く。

【事例におけるICT活用の場面①】

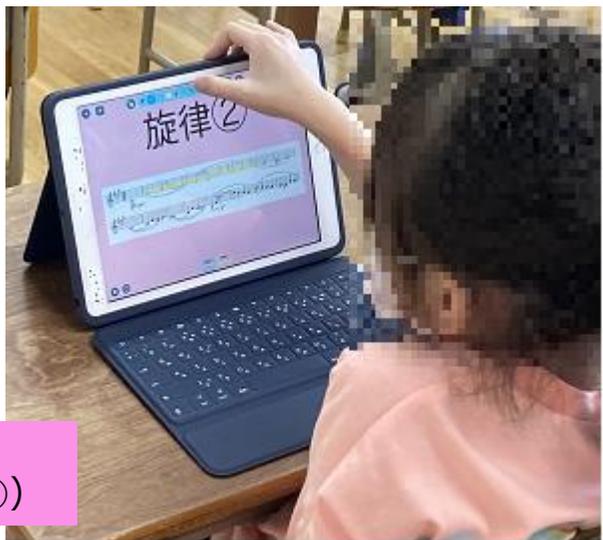
○ICT端末上に配布された「第1主題」と「第2主題」の旋律線を指でなぞって確認することで、主な旋律の特徴をつかむことができるようにする。

【事例におけるICT活用の場面②】

○楽器名が記されたカードをICT端末上で並び替えることで、主な旋律を演奏する楽器の音色を感じ取ることができるようにする。

【音楽・小5「いろいろな音色を感じ取ろう」②】

【事例におけるICT活用の場面①】



(写真①)

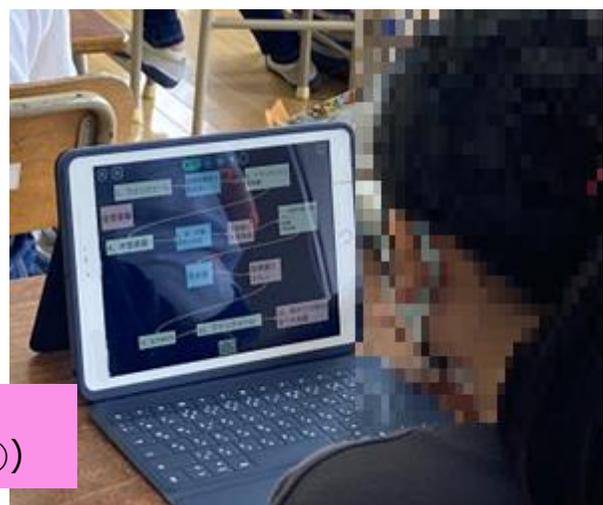
「第1主題」と「第2主題」の旋律の特徴をつかむ場面では、旋律線を指でなぞって音の動きを確認した。(写真①)

旋律の動きが可視化されることで、児童は旋律の特徴をつかむことができた。

【活用したソフトや機能】

- ・プレゼンテーションソフト
- ・学習支援ソフト

【事例におけるICT活用の場面②】



(写真②)

児童には、楽器名が書きこまれたカードがICT端末上に配布された。

児童は音源を聴きながら、カードを順番に並び替えた。(写真②)

考えを共有し、主な旋律を演奏する楽器の音色を確認した。児童は

「主な旋律を演奏する楽器が変わると、雰囲気が変わること」や「楽器を重ねて演奏すると盛り上がること」を感じ取ることができた。